

1. 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3. 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値			開館時間中(10:00～18:00)、自由来館となっている。	-
			②利用人数		平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 10点	・全体的に来館者がやや増加している。乳幼児は幼稚園帰りの来館者が増加したこと、小学生は行事参加者がやや増加したことによると分析した。 【28年度】 来館者数 9,573人 乳幼児 3,163人、小学生2,879人 中高生 131人、大人 3,400人 【27年度】 来館者数 8,558人 乳幼児 2,764人、小学生 2,580人 中高生 55人、大人 3,159人 【26年度】 来館者数 8,810人 乳幼児 2,829人、小学生 2,617人 中高生 41人、大人 3,323人 【25年度】 来館者数 8,684人 乳幼児 3,137人、小学生 2,367人 中高生 63人、大人 3,117人	10点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児対象事業(計119回開催、延べ2,579名参加) ・児童対象事業(計177回開催、延べ2,183名参加) ・多世代間交流事業(計79回開催、延べ1,862名参加) ・中高生事業(計8回開催、延べ67名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計23回開催、延べ453名) ※別紙:事業報告書 参照	仕様書以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・29年度小学生「チャレンジキッズ」の需要が多かったため月1回から2回にし、多くの子ども達が参加できるよう増設した。 ・年々ター輪車クラブの需要が増加しているため、遊戯室を広く使えるよう機の配置などを工夫した。 ・母親クラブ立ち上げ事業を積極的に行ったことにより、29年度母親クラブが立ち上る。	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児対象事業(計55回開催、延べ1,082名参加) ・児童対象事業(計64回開催、延べ990名参加) ・多世代間交流事業(計75回開催、延べ1,168名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ45名参加) ※別紙:事業報告書 参照	例年通り 11点	・社会福祉協議会の特性を活かした自主事業を行った。 ・需要の多い乳幼児クラブを設定している。 ・福祉体験を長期休暇中に取り入れた。 ・地域の高齢者クラブとの交流を積極的に行った。 ・季節行事や伝統行事など多く取り入れた。	11点
						平均値比110.2%=利用人数(H28来館者数述べ9,573人)÷(H25,26,27年度来館者数平均値8,684人)(上記(3)適用)			

4. 採点表								
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理 業務 の実施状況 (10点)	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	・通常清掃:日常清掃 ・駐車場清掃実施、屋上清掃を年2回実施	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	10点
					電気工作物、運動器具の保守点検は、業務委託により実施。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
					・非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施 ・夜間館内警備については委託により実施	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
					①印刷機修繕 10,422円 ②非常通報装置バッテリー交換 11,880円 ③電話線修理 0円 ④床隙間、傷補修 随時職員が修繕 ⑤網戸隙間修繕 随時職員が修繕 ①～⑤については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、すみやかに対応している。 床のささくれ、削れなど日常補修している。	
					・毎月1回職員による安全点検,業者による遊具の点検実施 ・日常業務の中で危険箇所を把握しすみやかに対応している	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
	(2)その他管理 業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録に基いて管理している。	適正 (普通) 2点	文書目録に基いて管理している。	10点
					飲食の伴う行事の時は、箸やお碗を持ち込みしてもらうなど、廃棄物に配慮している。冷暖房・電灯をこまめに切る。冷暖房は適正温度に設定し、環境に配慮している。昼休みプールの水で打ち水をし、暑さ対策をしている。雨水、プールの水を花壇などに利用している。工作材料の再利用。多治見市の環境方針に準じ対応。使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し、裏紙の再利用、メールでの対応、資源ごみのリサイクル実施に配慮している。	適正 (普通) 2点	環境への配慮を多く行っていることは評価できる。	
		③バリアフリー			・床のささくれ、削れ、隙間部分を転倒防止のため随時修繕 ・遊戯室内の障害となるような物を取り除いた。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
		④備品管理			・備品台帳にそって管理している。 ・破損、不具合があったもので購入可能なものは随時補充した。(エアコン)	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
		⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を作成し、適正に管理している。 ・重要な書類は、鍵のかかるキャビネットで保管している。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	特になし	事故なし・対応に不備なし 0点	社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止に繋げる体制をとっている。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	10,884,050÷7,841,954＝138%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われた。 職員配置に伴う人件費により、黒字となった。	5点

4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・アンケートボックスを設置して随時、意見を受け付けるとともに、クラブ・行事等後にその都度アンケートを実施している。 ・少数意見でも、希望に添うよう配慮している。	期待以上 8点	・乳幼児クラブ及び自由参加型事業では、アンケートや要望を聞き、次年度に取り込むことで対応している。 ・小学生クラブでは要望を聞き、狭いスペースを有効活用できるよう工夫し、定員を増加した。 ・平成27年度のチャレンジキッズの日曜開催の要望により実施した。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	社会福祉協議会として、苦情申出窓口を設置し、苦情対応責任者、苦情受付担当者、第3者委員を設置している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・母親クラブの29年度立ち上げに向け支援した。 ・利用者のニーズを把握し、事業の拡大を図った。 ・かねてより運営委員により要望を出していた壁面の修繕を行なわれている。床は毎日点検し、その都度行った。 ・他館との連携事業も多く、館同士の交流も盛んに行った。 ・社会福祉協議会の特性を生かし総合福祉センター内障害者センター、母子父子福祉センター、地域福祉課との交流事業を実施した。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流を図っている。 ・講師を招いて実技研修(工作・一輪車・AED・支援児について)、職員研修(児童館研修・接遇研修・館同士の交換研修)を実施した。 ・毎月1回 代表者会議、年1回 常勤職員会を実施し、各館との交流・ヒアリハットなど周知している。	期待以上 14点	・26年度に活動中止となっていた母親クラブ設立を目指し、支援事業を積極的に行った結果29年度の設立にこぎ付けた。 ・一輪車クラブは希望者が増加しているため、安全に考慮した上で場所の確保を工夫し、最大人数の受け入れに努めた。 ・チャレンジキッズは希望者が多数いるため2クラスにした結果、希望者が確実に入会することができた。 ・施設の構造上、他館と比べ運動遊びをしずらい環境にあるが、切り絵、工作など月数回設定し室内遊びを充実させている。 ・近隣施設(多治見北高校、裁判所、文化ホール など)と関わりを多く持てた。 ・職員研修を通して、個々の資質や事業運営のスキル向上を図った。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施した。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施した。	0点
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計85点
								全体的な評価 ・良好な管理運営がされている。 ・母親クラブの設立支援に注力したほか、身近な公共施設の見学会、校区内のシニア団体との交流が充実している。	極めて良好